

# こうち子ども観光大使選抜講座② 盛會御礼新聞 龍河洞

平成28年7月3日

こうち子ども観光大使実行委員会

## 7月3日快晴・龍河洞

こうち子ども観光大使の選抜講座②は龍河洞。この日も驚くほどの快晴。午前十一時には高知市内は30度を超す暑さ。もちろん香美市も暑い。子どもたちは水筒を肩から提げて集まってくる。参加児童三十一名、保護者を含めると約六十名。今回も大盛會となった。

龍河洞は日本3大鍾乳洞の一つである。岩手県「龍泉洞」山口県「秋芳洞」、そして高知県「龍河洞」。子どもたちが集まったのは龍河洞を少し下った商店街の一部。龍河洞からの涼しい風が通りすぎて気持ちいい。

講師は龍河洞保存会の会長・岡崎さん。高知市を中心に、みんなが遠くから参加してくれたことを喜んで下さっていた。



## いよいよ洞窟探検へ

龍河洞は中が狭いため約10

名ずつ3グループに分かれて入洞した。入り口に立つと、冷たい風が吹き抜ける。「なむい〜」と絶叫する子どもたち。



ガイドさん「洞内の気温は夏は十八度、冬は十四度で安定しています。夏は十八度だから涼しいですよ。でもね、湿度が高いから歩いていると暑くなるよ。」その言葉通り、全員が汗だくになりながら探検をした。

最初は暗闇を歩きながら「つわいー」と言っていた子どもたち。すぐに環境に慣れるとガイドさんに質問を始めた。

「こうもりはいますか?」「地震がきたらくずれますか?」一つひとつの質問に丁寧に答えしてくれるガイドさん。

「こうもりは沢山います。でも夜行性だから昼間は洞窟で寝ています。夜になると洞窟から出

ていきます。地震が来ても崩れません。ここは山自体が大きな岩盤でできているからね。」とにかく賑やかな子どもたち。

神の壺、玉簾の滝、そして龍河洞最大の鍾乳石・天降石(高さ十一m)などの美しい鍾乳石・面白い形をした鍾乳石に見入っていた。

ガイドさん「鍾乳石は1cm伸びるのに百年かかります。」

## 垂直に八十mも登る

龍河洞の探検は約1時間。その間に垂直方向に八十mの高さを登ったことになる。洞窟の出口を出ると、山の中腹あたり。



そこから山道を使って下山をした。途中でガイドさんが何やら葉っぱをとっていた。

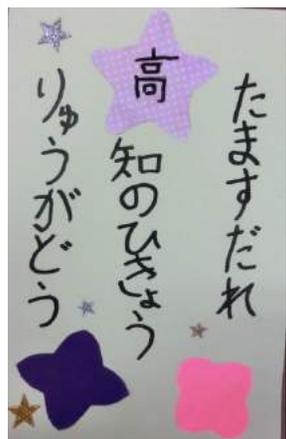
「これは藍染めの原料で山藍っていいます。」

日本最古の染料に使われた植物だそう。何人かがお土産に山藍の葉っぱをもらっていた。

## ふるさと俳句で発信

最後は、いつものように観光

大使としての発信である。龍河洞の中は季節がないため、無季語俳句に挑戦をした。



玉すだれの滝、神の壺など鍾乳石に付けられたユニークな名前を取入れられた作品が次々と出来上がった。低学年の子も、指を折りながら字数を数える様子が印象的であった。

## 感想より(一部抜粋)

- ・楽しかった。めちゃめちゃ面白かった。
- ・神の壺とか人が寝る場所があつてすごいなと思いました。
- ・また、今度行きたいと思いました。

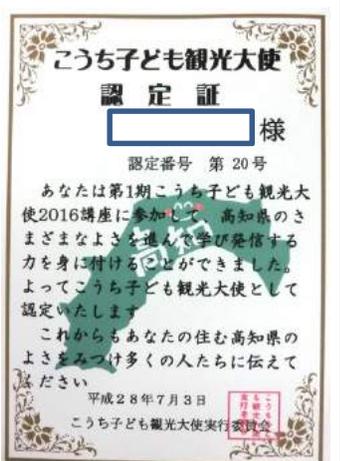
・思ったより洞窟が冷たかったです。道も狭かったので、面白かったです

・龍河洞は思ったより美しく、高知の秘境として使えると思いました。

## 認定証とバッジの授与

今回は二五名が高知県初となる「子ども観光大使」に認定された。

今後高知の良さを学び、そして発信できる人になってくれること間違いなし。



県庁おもてなし課・山崎課長からのメッセージ(要旨のみ)「これからも県外、そして海外の方にも、どんどん高知に来てもらいたいです。そして、みんなにも観光大使として活躍して欲しいです。難しい事はありません。笑顔で挨拶をする。一つでもゴミを拾う。活躍を期待しています。」

山崎課長から【子ども観光大使】への期待の言葉であった。そして、「一つでもゴミを拾う」という具体的な行動を示していただいた。

